

CONTENTS



Chapter 1

arrows We2 / We2 Plus のキホン

Section 01	arrows We2 / We2 Plusについて	8
Section 02	電源のオン / オフとロックの解除	10
Section 03	基本操作を覚える	12
Section 04	情報を確認する	14
Section 05	パネルスイッチを利用する	16
Section 06	アプリを利用する	18
Section 07	文字を入力する	20
Section 08	文字列をコピー&ペーストする	26
Section 09	音量やマナーモードを設定する	28
Section 10	Googleアカウントを設定する	30
Section 11	ドコモのIDとパスワードを設定する	34



Chapter 2

電話機能を使う

Section 12	電話をかける / 受ける	42
Section 13	履歴を確認する	46
Section 14	伝言メモを利用する	48
Section 15	ドコモ電話帳を利用する	50
Section 16	着信拒否を設定する	54
Section 17	着信音を設定する	56



Chapter 3

インターネットとメールを利用する

Section 18	Webページを閲覧する	58
Section 19	Webページを検索する	60
Section 20	複数のWebページを同時に開く	62
Section 21	ブックマークを利用する	64
Section 22	ドコモメールを設定する	66
Section 23	ドコモメールを利用する	70
Section 24	迷惑メールを防ぐ	74
Section 25	+メッセージを利用する	76
Section 26	Gmailを利用する	80
Section 27	メールアカウントを追加する	82



Chapter 4

Google のサービスを利用する

Section 28	Googleアシスタントを利用する	86
Section 29	生成AIを利用する	88
Section 30	Google Playでアプリを検索する	90
Section 31	アプリをインストールする / アンインストールする	92
Section 32	Googleマップを利用する	94

CONTENTS



Chapter 5

ドコモのサービスを利用する

Section 33	dメニューを利用する	98
Section 34	My docomoを利用する	100
Section 35	my daizを利用する	104
Section 36	スケジュールで予定を管理する	106
Section 37	ドコモのアプリをアップデートする	108



Chapter 6

音楽や写真、動画を楽しむ

Section 38	パソコンから音楽・写真・動画を取り込む	110
Section 39	音楽を聴く	112
Section 40	写真や動画を撮影する	114
Section 41	さまざまな機能を使って撮影する	120
Section 42	写真や動画を閲覧する	124
Section 43	写真や動画を編集する	128
Section 44	Photoshop Expressを利用する	132



Chapter 7

便利な機能を利用する

Section 45	arrowsのオススメ機能を確認する	134
Section 46	文字をはっきり見えるようにする	135

Section 47	電源キーで操作する	136
Section 48	アプリを素早く起動する	138
Section 49	すばやくメモを取る	140
Section 50	IDやパスワードを管理する	142
Section 51	We2 Plusで自律神経の活動量を測定する	144
Section 52	画面をなぞって文字をコピーする	146
Section 53	2つのアプリを表示する	148
Section 54	おサイフケータイを設定する	150
Section 55	紛失した端末を見つける	152
Section 56	画面をキャプチャする	154



Chapter 8

使いやすく設定する

Section 57	ホーム画面をカスタマイズする	156
Section 58	ウィジェットを利用する	162
Section 59	シンプルモードを利用する	164
Section 60	画面ロックを生体認証で解除する	166
Section 61	スリープから指紋でアプリを起動する	170
Section 62	サイレントモードで通知を制限する	174
Section 63	アプリを終了してメモリを確保する	176
Section 64	バッテリーを管理する	178
Section 65	画面表示を固定する	180

Section 66 Bluetooth機器を利用する	182
Section 67 Wi-Fiに接続する	184
Section 68 Wi-Fiテザリングを利用する	186
Section 69 本体ソフトウェアを更新する	188
Section 70 初期化する	189

ご注意：ご購入・ご利用の前に必ずお読みください

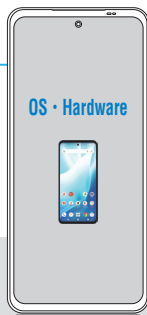
- 本書に記載した内容は、情報の提供のみを目的としています。したがって、本書を用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果について、技術評論社および著者、アプリの開発者はいかなる責任も負いません。
- ソフトウェアに関する記述は、特に断りのない限り、2024年8月現在での最新バージョンをもとにしています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があり、本書での説明とは機能内容や画面図などが異なってしまうこともあり得ます。あらかじめご了承ください。
- 本書は以下の環境で動作を確認しています。ご利用時には、一部内容が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
端末：arrows We2 Plus F-51E (Android 14)
パソコンのOS：Windows 11
- インターネットの情報については、URLや画面などが変更されている可能性があります。ご注意ください。

以上の注意事項をご承諾いただいたうえで、本書をご利用願います。これらの注意事項をお読みいただかずに、お問い合わせいただいても、技術評論社は対処しかねます。あらかじめ、ご承知おきください。

■本書に掲載した会社名、プログラム名、システム名などは、米国およびその他の国における登録商標または商標です。本文中では、™、®マークは明記していません。

arrows We2 / We2 Plusについて

本書の解説は、arrows We2 F-52E（以降We2）とarrows We2 Plus F-51E（以降We2 Plus）の両方に対応しています。



各部名称を覚える（We2 Plusの場合）



① ディスプレイ（タッチパネル）	⑧ フラッシュ／ライト
② 受話口／スピーカー	⑨ アウトカメラ
③ インカメラ	⑩ 脈波センサー
④ 近接センサー／照度センサー	⑪ スピーカー
⑤ セカンドマイク	⑫ USB Type-C接続端子
⑥ 音量キー	⑬ 送話口／マイク
⑦ 電源キー／指紋センサー	⑭ イヤホンマイク端子

タッチパネルの操作

タップ

タッチパネルに軽く触れてすぐに指を離すことを「タップ」、すばやく2回続けてタップすることをダブルタップといいます。



ロングタッチ

アイコンやメニューなどに長く触れた状態を保つことを「ロングタッチ」といいます。



ピンチアウト／ピンチイン

2本の指をタッチパネルに触れたまま指を開くことを「ピンチアウト」、閉じることを「ピンチイン」といいます。



スライド（スワイプ）

画面内に表示しきれない場合など、タッチパネルに軽く触れたまま特定の方向へなぞることを「スライド（スワイプ）」、または「パン」といいます。



フリック

タッチパネル上を指ではらうように操作することを「フリック」といいます。



ドラッグ

アイコンやバーに触れたまま、特定の位置までなぞって指を離すことを「ドラッグ」といいます。



電源のオン／オフと ロックの解除


電源の状態にはオン、オフ、スリープモードの3種類があります。3つのモードはすべてサイドボタンで切り替えが可能です。一定時間操作しないと、自動でスリープモードに移行します。



1 ロックを解除する

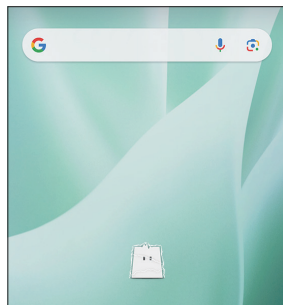
- ① スリープモードで電源キーを押します。



- ② ロック画面が表示されるので、暗証番号 (Sec.60参照) などを設定していない場合は、を上方向にスワイプします。



- ③ ロックが解除されます。再度電源キーを押すとスリープモードになります。



MEMO スリープモードとは

スリープモードは画面の表示が消えている状態です。バッテリーの消費をある程度抑えることはできますが、通信などは行っておらず、スリープモードを解除すると、すぐに操作を再開することができます。また、操作をしないと一定時間後に自動的にスリープモードに移行します。

電源を切る

- ① 画面が表示されている状態で、電源キーと音量キーの上を同時に押します。



- ② メニューが表示されるので、[電源を切る]をタップします。



- ③ 電源がオフになります。電源をオンにするには、電源キーを2秒以上押し続けます。



MEMO ロックダウンモードを利用する

ロックダウンモードとは、生体認証 (Sec.60参照) でのロック解除を無効にする機能です。画面ロックに生体認証を設定すると、手順②の画面に「ロックダウン」というメニューが追加されます。タップするとロックダウンモードが有効になり、次の起動時のロック解除に、生体認証時に合わせて設定した暗唱番号がパスワード、パターンが必要になります。ロックダウンモードは一度ロックを解除すると、無効になります。再び有効にするには、再度同じ操作をします。

基本操作を覚える

本体の操作は、ディスプレイと本体下部のアイコンを、指でタッチすることで行います。ここでは、アイコンの役割、ホーム画面の操作を紹介します。



ナビゲーションアイコンの操作



バックアイコン
履歴アイコン
ホームアイコン

MEMO ジェスチャーナビゲーションに切り替える

ナビゲーションアイコンを、ジェスチャーナビゲーションに変更することができます。「設定」アプリを起動し、[システム] → [動作] → [ナビゲーションモード] の順にタップすると、ナビゲーションのタイプが選択でき、[ジェスチャーナビゲーション] を選択すると、最下部にバーのみが表示されるようになり、ジェスチャーで操作できるようになります。



ナビゲーションアイコン	
履歴アイコン	最近操作したアプリがサムネイルで表示されます (P.19参照)。
ホームアイコン	ホーム画面が表示されます。一番左のホーム画面以外を表示している場合は、一番左の画面に戻ります。ロングタッチでGoogleアシスタント (Sec.28参照) が起動します。
バックアイコン	1つ前の画面に戻ったり、アプリを終了したりします。

ホーム画面 (docomo LIVE UX) の見かた

ステータスバー
状態を表示するステータスアイコンや、通知アイコンが表示されます。

クイック検索ボックス
タップすると、検索画面やトピックが表示されます。



マチキャラ
タップすると、ドコモのAIアシスタント「my daiz」が起動します (Sec.35参照)。

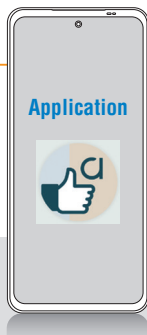
アプリアイコンとフォルダ
タップするとアプリが起動したり、フォルダの中身が表示されたりします。

ドック
タップすると、アプリが起動します。ドックに表示されているアイコンは、どのホーム画面にも表示されます。

ナビゲーションバー
操作するアイコンが表示されます (P.12参照)。

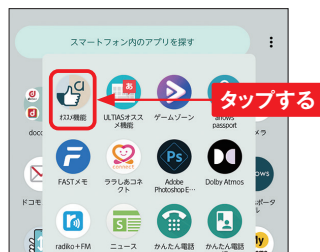
arrowsのオススメ機能を 確認する

We2/We2 Plusには、独自の便利機能がたくさん搭載されています。主要な独自機能は、「オススメ機能」から一括して確認、設定できるようになっています。



「オススメ機能」を利用する

- ① 「アプリ一覧」画面で、[arrows]フォルダをタップし、[オススメ機能]をタップするか、「設定」アプリで [オススメ機能] をタップします。



- ② 「arrowsオススメ機能」画面が表示されます。上方向にスワイプします。



- ③ オススメ機能のオン/オフの切り替えや、設定の呼び出しをこの画面から行えます。

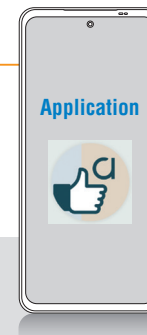


- ④ 手順②の画面で [arrowsはじめ] に設定] をタップすると、オススメ機能を順番に設定できるようガイドが表示されます。



文字をはっきり 見えるようにする

We2/We2 Plusには、文字やアイコンがよりはっきり見えるよう自動で調整する「はつきり文字」機能が利用できます。なお、文字やアイコンのサイズは手動でも設定できます。



はつきり文字をオンにする

- ① P.134手順③の画面で、「はつきり文字」の [ONにする] をタップします。



- ② はつきり文字がオンになります。[OFFにする] をタップすると、オフになります。



- ③ はつきり文字のオン/オフは、パネルスイッチからも行えます。

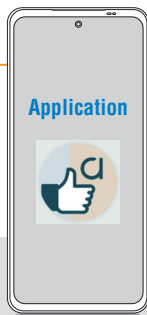


MEMO 手動で設定する

「設定」アプリを起動し、[ディスプレイ] → [表示サイズとテキスト] の順にタップすると、文字やアイコンの大きさを手動で設定することができます。また、この画面からテキストを太字にしたり、コントラストを高めたりすることもできます。

電源キーで操作する

Exliderをオンにすると、電源キーをスワイプして画面のスクロール、ダブルタップして画面の拡大ができます。片手操作に便利な機能なので、使ってみましょう。

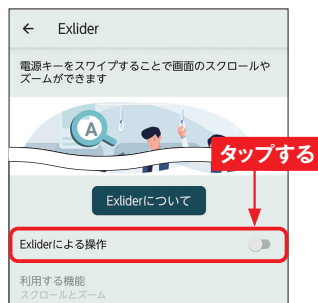


Exliderの利用を開始する

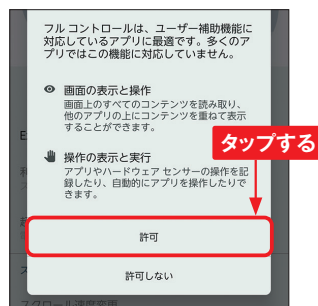
- ① P.134手順③の画面で、「Exlider」の「設定する」をタップします。



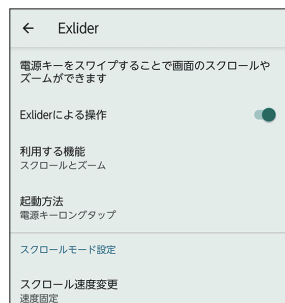
- ② 「Exlider」画面が表示されます。「Exliderによる操作」をタップします。



- ③ 次の画面で「許可」をタップします。



- ④ Exliderがオンになります。この画面で、Exliderの起動や操作を設定することができます。

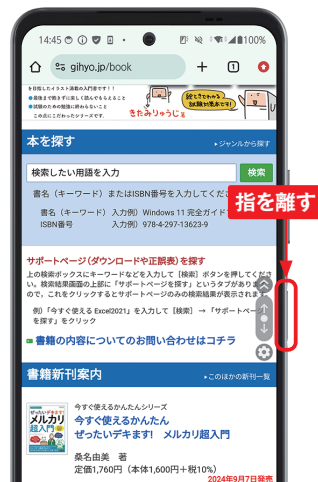


Exliderを利用する

- ① Exliderをオンにした状態で、電源キーをロングタッチします。



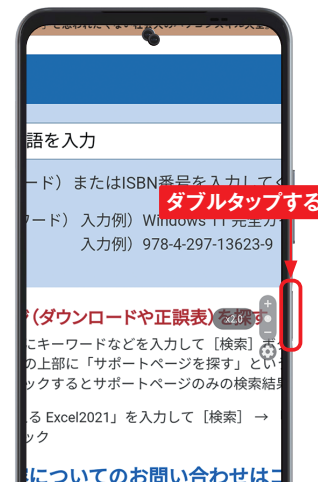
- ② Exliderが画面右端に表示されたら、電源キーから指を離します。



- ③ Exliderが表示された状態で、電源キーを上下にスワイプすると、スクロール可能な画面では画面がスクロールします。

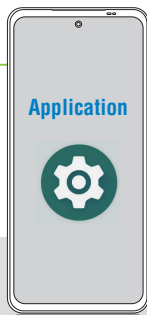


- ④ Exliderが表示された状態で、電源キーをダブルタップすると、画面を拡大できます。



ホーム画面を カスタマイズする

よく使うアプリは、ホーム画面に配置することができます。また、フォルダを作成して複数のアプリアイコンをまとめることもできます。壁紙も変更して、自分で使いやすいホーム画面を作りましょう。

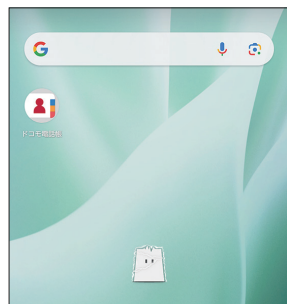


■ アプリアイコンをホーム画面に配置する

- ① 「アプリ一覧」画面で、ホーム画面に配置したいアプリをロングタッチし、[ホーム画面に追加] をタップします。



- ② ホーム画面の空いているところに、アプリのアイコンが配置されます。



- ③ ホーム画面のアプリアイコンをロングタッチします。

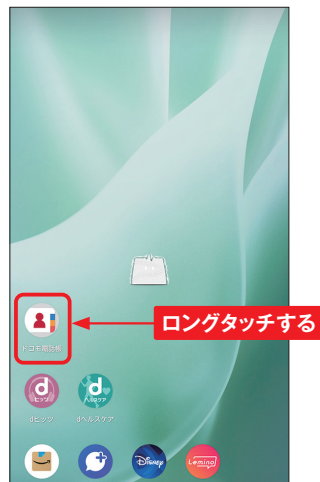


- ④ ドラッグして、任意の位置に移動することができます。ほかのホーム画面に移動することも可能です。



■ ホーム画面のアイコンを削除する

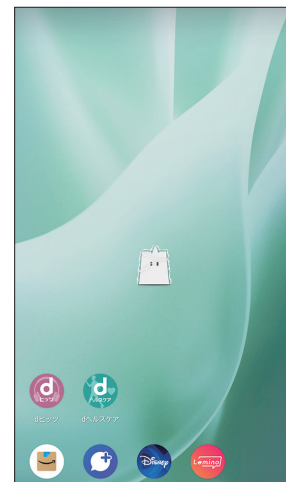
- ① ホーム画面で削除したいアプリのアイコンをロングタッチします。



- ② そのまま画面上部の[削除]までドラッグして、指を離します。



- ③ ホーム画面のアイコンが削除されます。



- ④ アプリのアイコンをロングタッチして表示されるメニューで、Xをタップしても、アプリのアイコンをホーム画面から削除できます。

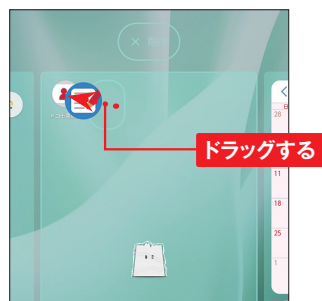


フォルダを作成する

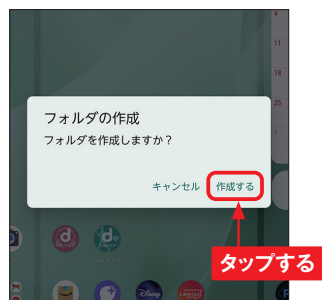
- ① ホーム画面でフォルダにまとめた
いアプリアイコンを、ロングタッチ
します。



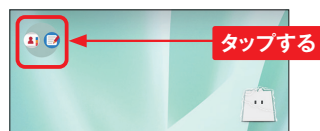
- ② 同じフォルダに収めたいアプリ
アイコンの上にドラッグします。



- ③ 確認画面が表示されるので、[作
成する] をタップします。



- ④ フォルダが作成されます。[フォル
ダ] をタップします。

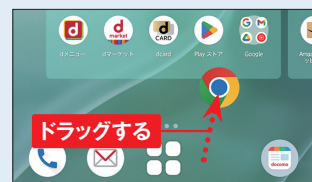


- ⑤ フォルダが開いて、中のアイコン
が表示されます。フォルダ名をタッ
プして任意の名前を入力し、[確
定] をタップすると、フォルダ名を
変更できます。



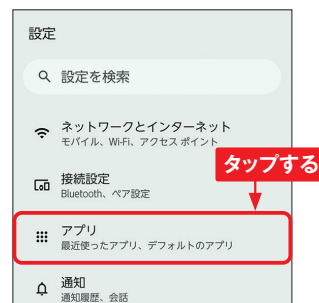
MEMO ドックのアイコンの 入れ替え

ホーム画面下部にあるドックのアイ
コンは、入れ替えることができ
ます。アイコンをロングタッチし、
任意の場所にドラッグして、かわ
りに配置したいアプリのアイコン
を移動します。



ホームアプリを変更する

- ① 「設定」アプリを起動し、[アプリ]
をタップします。



- ② [デフォルトのアプリ] をタップしま
す。



- ③ [ホームアプリ] をタップします。



- ④ 初期状態では、「docomo LIVE
UX」が設定されています。変更
したいホームアプリ（ここでは
[arrowsホーム]）をタップします。



- ⑤ ホームアプリが「arrowsホーム」
に変更されます。なお、標準の
ホームアプリに戻すには、手順
④ の画面で [docomo LIVE
UX] をタップします。

